

# 学び舎通信

## 才能の花を咲かせるために

みなさんは、自分の長所・短所を見つめることができますか。自分を知ることは、自分を嫌いになることではなく、自分の特徴を生かすための対策法の一つと考えると良いと思います。長所・短所を知り、伸ばしたり改善したりすることで、自分に磨きをかけられると思います。

私は、音や形にして自分の表現したいものを表現することにあこがれをもつ人間です。私にも自分が表現したいものを形にできる手立てを手に入れたことがありました。それは中学3年生のときの国語の授業で出会った俳句でした。

クラス全員が一句ずつ作り、一番良いと思った俳句に投票したのですが、私の作った俳句が一等賞を取ったのです。40数名いる中で30票近くを獲得しました。顔には表しませんでした。うれしくて仕方ありませんでした。

その俳句は、「春先に夢負う桜散りにけり」という季語が2つある俳句でしたが、一等賞ですっかり自信をもちました。そして、本屋へ行き、俳句雑誌を購入して高校3年まで俳句を作り続けました。

今は俳句を作ることができなくなってしまいました。ある時期を境に言葉が浮かんでこなくなってしまうからです。俳句作りに苦しんで忙しさを理由に逃げてしまったのです。教えを受けた先生方からは、

- ・ 先人（せんじん）の俳句を学ぶこと
- ・ 季語への理解を深めること
- ・ 文学を教養として広く学ぶこと

といったアドバイスを頂きましたが、独学での限界を感じていたのです。俳句をやめようと思ったときの俳句が、「水の色になるまで枯葉ただよへり」という俳句です。目の前の風景を見ながら、17文字の中に言葉では表現できないものも取り込もうと考えて作った俳句でした。迷いを乗り越えたその先には、もっと違った世界が見られる可能性があったのではないかと思うときがあります。

みなさんによく話している、「本当の限界はもっと先にあるのに、ここまでが限界と自分で限界を決めてしまう」という言葉は、自分に対する戒めの言葉でもあります。みなさんには可能性がいっぱいつまっています。進路選択の時期が来るまでに自分が伸ばしたいこと、足りないことを見つめる時間を作って、夢を見つけて一歩一歩努力していく人が増えてくれたらなと考えています。それぞれの人がオンラインワンの花を咲かせる日が来ることを楽しみにしています。

(文責：

水野 千広)

### 4月の連絡

新2年生としての初登校日は、4月5日(木)です。

9時25分～9時35分に登校

西サッカーゴール前で名簿を渡します。自分のクラスを確認後、教室で待機しててください。

【持ち物】 スリッパ、体育館シューズ、ぞうきん2枚